

1150 | 絵画 VI

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

三浦明範教授、長沢秀之教授、赤塚祐二教授、遠藤彰子教授、袴田京太郎教授、水上泰財教授、樺山祐和教授、丸山直文教授、小林孝亘教授、阿部英幸講師、伊藤仁講師、大家泰仁講師、加藤健二講師、金子善明講師、佐々木敏講師、清水健太郎講師、瀬島匠講師、松村繁講師、山本明比古講師、吉川民仁講師

授業の概要と目標

A 系、B 系選択。

「空間と構造」がテーマとなる。絵画における空間は、人間の想像力の問題であり、民族や時代そして個人によってその在り方は多様である。感覚と観念、記憶と直感などのもとに、素材、構図、形態、色彩等の構造化された関係性の中から、絵画に固有の豊かな世界が立ち現われる。空間と構造の問題を意識することによって、絵画が単に描写力や色彩の美しさばかりで成り立つのではないことを知る。

通信授業、面接授業を通して、様々な空間の在り方を学び制作する。

課題の概要

○通信授業課題

〈A 系〉「空間と構造—断片の風景—」

1-1 日常ありふれた場所の中から美を発見する。視界を限定した「断片の風景」をもとにクロッキーする。また、場所を選んだ理由を 400 字程度で解説する。

1-2 「1-1」で見つけた対象をエスキースする。

1-3 「1-1」で見つけた対象を油彩で制作する。

〈B 系〉「空間と構造」

1-1 「風景」「静物」「人体」等を多視点的に様々な方向から捉え、クロッキーする。また、対象を選んだ理由を 400 字程度で解説する。

1-2 「1-1」をもとに「1-3」のための構成的クロッキーとエスキースを制作する。

1-3 「1-2」をもとに「記憶」や「想像」といった他の要素を加えて自由に構成し、多次元的な絵画空間をもつ平面作品を制作する。

○面接授業課題

〈A 系〉「空間と構造」

1-1 持参した資料やモチーフを基に、空間と構造を意識した制作をする。校舎内の取材も可とする。小エスキース複数枚と B2 以上の大エスキースを最低 1 枚制作する。描画材は自由。

1-2 「1-1」で制作したエスキースを基に、油彩またはそれに準ずる素材で制作する。支持体はキャンバスほか自由で 30～40 号の大きさ。

〈B 系〉「空間と構造」

1-1 体の部分を数箇所石膏取りし、それを B3 木製パネル上に構成して組み立てる。組み立てた立体を様々な角度から見てクロッキーする。B3 または F6～8 号の薄手の紙（クロッキーブック等）。立体作品 1 点提出。クロッキーは複数枚描きその中から 4 点提出。

1-2 「1-1」のクロッキーをもとに他の要素も自由に加え構成した平面作品を制作する。支持体は自由で 30～40 号程度。紙類の場合は B1 程度。描画材は自由（鉛筆、水彩、油彩他）。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『絵画 VI・VII/卒業制作 平成 29 年度』の「絵画 VI」を参照。

教科書『絵画—素材・技法—』の第 1 章「デッサン・油彩」、第 2 章「油彩画の素材・技法と表現」、第 3 章「水性絵具」等を参照。

教科書『絵画—アートとは何か—』の第 1 章「美術の成り立ち」等を参照。

[面接授業]

〈A 系〉	第 1 日	午前：前提講義及び制作	午後：制作
	第 2 日	午前：制作	午後：制作
	第 3 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評
	第 4 日	午前：制作	午後：制作（油彩）
	第 5 日	午前：制作	午後：制作
	第 6 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

〈B系〉	第1日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（石膏取り）
	第2日	午前：制作	午後：制作
	第3日	午前：制作（クッキー）	午後：制作及び採点・講評
	第4日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（平面作品）
	第5日	午前：制作	午後：制作
	第6日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] 絵画コース3年次必修科目の単位をすべて修得していること（『学生ハンドブック』p.049の特例を除く）。

[備考] 油絵学科絵画コース4年次必修科目。

教材等

教科書：『絵画—素材・技法—』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

『絵画—アートとは何か—』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

『複合的表現—絵画からの展開—』（武蔵野美術大学出版局 2005年）

学習指導書：『絵画Ⅵ・Ⅶ／卒業制作 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）